総合型地域スポーツクラブ育成推進フォーラムが７日、愛知県豊川市文化会館で開かれた。北京五輪女子バレーボールの日本代表監督を務めた柳本晶一さんが基調講演。パネルディスカッションでは、早稲田大スポーツビジネス研究所客員研究員の松澤淳子さんをコーディネーターに、大阪教育大付属高校平野校舎教諭の松田雅彦さん、愛知県広域スポーツセンター事業推進室プロジェクトマネジャーの榊原孝彦さん、北京五輪ビーチバレー女子監督の徳野涼子さんの３人が、スポーツを気軽に楽しめる環境づくりの大切さや健康、地域づくりに役立てる意義、将来への期待について話し合った。

総合型地域スポーツクラブ育成推進フォーラム

スポーツできずな再生

総合型地域スポーツクラブ育成推進フォーラムin豊川で行われたパネルディスカッション＝豊川市文化会館で

総合型地域スポーツクラブとは

松澤　初めて「総合型地域スポーツクラブ」という言葉を耳にした方には、分かりにくいかもしれない。

松田　ママさんバレーや草野球、サッカーなどの種目別チームをネットワーク的につなぐ多世代多種目のクラブのこと。地域の人たちが継続的にスポーツを楽しむ環境を整え、人と人とのつながりを作る場所を提供する。六月の秋葉原無差別殺傷など、相次ぐ陰惨な事件は「人とのつながり」の欠如が原因と思う。一緒にスポーツをすることで相談相手が生まれ、あのような暴走を避けるチャンスも見つけられる。

楽しめる場所に

榊原　地域コミュニティーの再生が理念のはずだ。例えば、道端でたばこを吸う中学生を見つけた場合を考えてみてほしい。知らない相手だと注意するのは難しいが、スポーツ仲間なら気軽に注意できるだろう。人とのきずなが強くなるスポーツの魅力を生かし、よりよい地域をつくる事業柱。

松田　「巨人の星」にもつながる。

誰かが率先して

榊原　人と人との関係が希薄になったことの原因の一つに「人と会う、人が大勢集まるのはわずらわしい」という風潮があるのでは。それを乗り越え、金銭的にもきちんとクラブ経営を成り立たせるのは大変つらい。それでも、誰かが率先して動かなければ何も始まらない。

松田　クラブづくりに主体的にかかわることは、自分の居場所づくりにもなる。先日、自分たちのクラブにやってきた初老の女性は「ここにくれば楽しめると聞いた」と言ってくれた。かつては特定の競技をやりたい人がクラブを形成していたが、いろいろなスポーツができることで「楽しめる」というだけで人が集まるようになった。クラブの認知が進んできた。充実感を感じた瞬間だった。

徳野　スポーツが周囲に及ぼす好影響も知ってほしい。例えば、ビーチスポーツが盛んな浜辺は、よく掃除されていて実にきれい。場所や街を大切にする心も、スポーツから生まれる。

これから私たちができること

松澤　最後に、これから私たちがすべきこと、できることについてお話しいただきたい。

松田　まずは今日、クラブの存在を知っていただいた。つくるかどうかを検討するだけでも意味があるので、必ず地域の未来を真剣に話し合う場になるはず。

榊原　「私たちの街ってどんな街」と子どもに聞かれたとき、親がはっきりと答えられるのがよい街。クラブは、魅力的な街づくりのための材料になるので、挑戦してほしい。

徳野　まずは楽しいというイメージを抱いてほしい。それがクラブを成長させる出発点になる。

松澤　総合型地域スポーツクラブは、スポーツによって地域を変える新しい試み。スポーツにある「人と人をつなぐ」力を生かすために、苦労を乗り越えて私たちから変わらなければならない。

主催　日本体育協会、愛知県体育協会
共催　中日新聞社、全国地方新聞社連合会
文部科学省委託事業

大阪教育大付属高校 平野校舎教諭

松田　雅彦氏

まつだ・まさひこ　1963年、大阪府生まれ。大阪教育大教育学部保健体育科専攻卒。体育の選択制授業に関し、カリキュラムの視点から研究。スポーツ種目を超えた学習を見いだす中で、地域スポーツへと分野を広げた。現在は学校と地域双方の視点からの研究を進めている。大阪府の「しまもとバンブークラブ」顧問。

北京五輪ビーチバレー女子監督

徳野　涼子氏

とくの・りょうこ　1974年、愛媛県生まれ。筑波大体育専門学群卒。2008年、同大大学院修了。世界各国を舞台にビーチバレー界の第一線で活躍し、04年のアテネ五輪に出場。06年に現役引退。NPO法人日本ビーチ文化振興協会に在籍し、海外に負けないビーチ環境を目指して活動。ビーチバレーの普及にも努める。

周囲にも好影響

徳野　ビーチバレーはマイナースポーツで、幼少期からビーチに慣れ親しんだ中国人や欧米人の選手に比べ、競技に触れるのが遅い日本人は芽が出るのが遅い。今はプレーする場所を見つけることさえ難しいが、誰もが容易にできる環境が整備されればもっとプレーする人が増えるはず。各種目のすそ野が広がれば、競技力向上にもつながる。

松田　まつだ・まさひこ　1963年、大阪府生まれ。大阪教育大教育学部保健体育科専攻卒。体育の選択制授業に関し、カリキュラムの視点から研究。スポーツ種目を超えた学習を見いだす中で、地域スポーツへと分野を広げた。現在は学校と地域双方の視点からの研究を進めている。大阪府の「しまもとバンブークラブ」顧問。

榊原　人と人との関係が希薄になったことの原因の一つに「人と会う、人が大勢集まるのはわずらわしい」という風潮があるのでは。それを乗り越え、金銭的にもきちんとクラブ経営を成り立たせるのは大変つらい。それでも、誰かが率先して動かなければ何も始まらない。

松田　クラブづくりに主体的にかかわることは、自分の居場所づくりにもなる。先日、自分たちのクラブにやってきた初老の女性は「ここにくれば楽しめると聞いた」と言ってくれた。かつては特定の競技をやりたい人がクラブを形成していたが、いろいろなスポーツができることで「楽しめる」というだけで人が集まるようになった。クラブの認知が進んできた。充実感を感じた瞬間だった。

徳野　スポーツが周囲に及ぼす好影響も知ってほしい。例えば、ビーチスポーツが盛んな浜辺は、よく掃除されていて実にきれい。場所や街を大切にする心も、スポーツから生まれる。

これから私たちができること

松澤　最後に、これから私たちがすべきこと、できることについてお話しいただきたい。

松田　まずは今日、クラブの存在を知っていただいた。つくるかどうかを検討するだけでも意味があるので、必ず地域の未来を真剣に話し合う場になるはず。

榊原　「私たちの街ってどんな街」と子どもに聞かれたとき、親がはっきりと答えられるのがよい街。クラブは、魅力的な街づくりのための材料になるので、挑戦してほしい。

徳野　まずは楽しいというイメージを抱いてほしい。それがクラブを成長させる出発点になる。

松澤　総合型地域スポーツクラブは、スポーツによって地域を変える新しい試み。スポーツにある「人と人をつなぐ」力を生かすために、苦労を乗り越えて私たちから変わらなければならない。

愛知県広域スポーツセンター事業推進室プロジェクトマネジャー

榊原　孝彦氏

さかきばら・たかひこ　1959年、愛知県半田市生まれ。早稲田大大学院修了。中学教諭、同市教育委員会職員などを経て現職。県内の総合型地域スポーツクラブの支援に当たり、研究成果を全国発信している。自身も地元でボランティアとしてNPO法人ソシオ成岩スポーツクラブのマネジングディレクターを務める。

早稲田大スポーツビジネス研究所客員研究員

松澤　淳子氏

まつざわ・じゅんこ　1962年、東京都生まれ。早稲田大第一文学部社会学専修卒。政府系シンクタンクで、レジャー活動・産業の調査研究、自由時間・ライフスタイルのキャンペーンに携わる。現在、フリーの研究員としてレジャーやスポーツに関する調査や自治体のスポーツ計画などに参加。早稲田大と実践女子短大の非常勤講師も務める。

地域変える試み

じんた人しツがクのくる「っ自くとに

柳本晶一氏 基調講演

北京五輪女子バレーボール日本代表監督

基調講演で熱弁をふるう柳本晶一氏

全日本女子の監督を引き受けたのは、すで にアテネ五輪に向け強化中の二〇〇三年。選手のモチベーションをどう上げるかを考えた。それが目標設定とは下り坂。世界でなく必要だった。

（どんなメンバーでいてもアジアで勝てばいいと、どんどん仕切りくかという）キャスティングだった。

を作ってしまっていた。世界で戦う気持ちを持たせて、モチベーションを上げることが から、中心に据えたのが吉原知子、竹下佳江、高橋みゆきだった。

人間力が勝利のカギ

できた瞬間 ほめて伸ばす

そしてキャスティング。トップアスリートを集めたからといって強いチームというわけではない。だから、中心に据えたのが吉原知子、竹下佳江、高橋みゆきだった。

唯一五輪を経験したことがある吉原をキャプテンにした。熱意のある吉原に「行け」と言えばついていく新人二人を起用した。ベテランは劣勢になると経験から守りに入る。体当たりする二人がいって勝てた試合もあった。

セッターの竹下は二〇〇〇年のシドニー五輪の予選で負け、周囲から「身長が低かったから」と言われてバレーをやめていた。しかし、竹下は日本一のセッター。バレーはセッターが違うだけで戦法も全然変わってくる。それから、挫折は経験になる。世界で勝つためには人間力が必要だった。

そして、試合後、アナウンサーが感動して泣いて質問できなくなったとき、マイクを奪って「みんな元気ー？」と言うような高橋。その自主性が重要だった。

ずっと男子バレーを教えてきたけど、女性は全く違った。論理的なことよりも「どう見られるか」を重視する。

選手は生まれながらに伸びる速度は違うけど、食いついてくれば下手のままでは終わらない。監督の仕事はそのの瞬間をほめて伸ばすこと。本人にできた自覚があっても、言ってあげないともっと上手な人と比べてしまう。伸びた瞬間を見逃さずに、「できたじゃない か」と言って選手に自信をつけるのが仕事だった。肌は離しても目は離さず、目を離しても心は離さずの子育ての気持ちと一緒。コミュニケーションが大切だった。

私はトップも経験したけど、どん底も経験した。酒におぼれたこともあった。出口が見えないとき、プレッシャーになったのは自分の過去の栄光。開き直ると「やるだけやってやろう」という気になった。挫折を通して自分が変わらないと周りも変わらないということを学んだ。

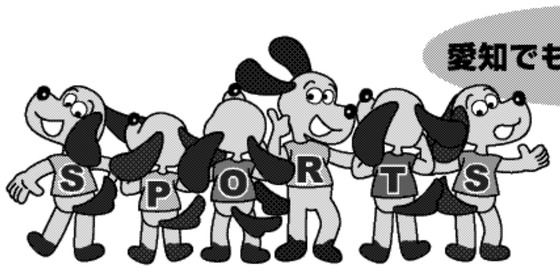
次の勝ちのステップは失敗の中にある。挫折したときも常に「これを乗り越えたら絶対のチャンスがある」という気持ちを持ち続けてきた。だから自分を大切に。今は悪い話が多いけど、前向きな気持ちを持っていれば、世の中も変わっていくのではないか。

やなぎもと・しょういち　1951年、大阪府生まれ。70年帝人三原に入社、翌年、新日本製鉄に移籍。76年、モントリオール五輪4位。監督としてVリーグ（現プレミアリーグ）などで優勝。2003年に日本女子代表監督に就任した。04年のアテネ五輪世界最終予選で2大会ぶりの出場権を獲得。アテネ五輪、08年の北京五輪で5位に導いた。

文部科学省委託事業
総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

愛知でも続々誕生！ 総合型地域スポーツクラブ

スポーツは人々の心や身体の健全な発達を促し、
生命力や活力を与えてくれるとともに、
健康で豊かなライフスタイルを構築し、
夢や生きがいのある社会の形成に重要な役割を担っています。
「いつでも・どこでも・誰でも・いつまでも」を合言葉に、
今、総合型地域スポーツクラブづくりが
愛知県の各市町村で取り組まれています。
総合型地域スポーツクラブは、地域の子どもからお年寄りまで、
より多くの人がスポーツ活動に参加し、健康づくりや青少年の健全育成、
そしてコミュニティづくりを目指す活動です。
住民一人ひとりが主役である『総合型地域スポーツクラブ』を
皆さんの手でつくり、参加してみませんか？



愛知県総合型クラブ取り組み状況（平成20年11月30日現在）

市町村名	クラブ名	市町村名	クラブ名
名古屋市南区	①桜学区地域スポーツクラブ	豊田市	㊹すえのはらスポーツクラブ
	②白水学区スポーツクラブ		㊺うめつぼだいスポーツクラブ
	③菊住学区地域スポーツクラブ		㊻逢妻スポーツクラブ
	④明治学区地域スポーツクラブ	安城市	㊼ANJOほく部みんスポクラブ
	⑤伝馬学区地域スポーツクラブ	西尾市	㊽つるしろスポーツクラブ
名古屋市緑区	⑥太子学区地域スポーツクラブ	江南市	㊾NPO法人スポーツフォーラム愛知
	⑦神の倉学区地域スポーツクラブ	小牧市	㊿三ツ渕スポーツクラブ
	⑧平子学区地域スポーツクラブ		(51)小牧南総合スポーツクラブ
	⑨浦里スポーツクラブ		(52)米野スパローズSC
	⑩鳴海東部学区スポーツクラブ		(53)味岡スポーツクラブ
	⑪有松スポーツクラブ	新城市	(54)バリアフリークラブ
	⑫片平スポーツクラブ		(55)北部体育振興会
名古屋市西区	⑬城西ジュニアスポーツクラブ		(56)南部体育振興会
名古屋市東区	⑭筒井ジュニアスポーツクラブ		(57)西部体育振興会
豊橋市	⑮FINSスポーツクラブ	高浜市	(58)NPO法人たかはまスポーツクラブ
	⑯RYOZスポーツクラブ	尾張旭市	(59)スポーツクラブあさひ一西
	⑰NPO法人東陽いきいきスポーツクラブ	岩倉市	(60)岩倉北スポーツクラブ
	⑱SKITSクラブ	豊明市	(61)豊明市スポーツクラブ
一宮市	⑲NPO法人木曽川文化・スポーツクラブ	北名古屋市	(62)鴨田スポーツクラブ
瀬戸市	⑳品野スポーツクラブ		(63)西春スポーツクラブ
	㉑水野・西陵いきいきクラブ		(64)白木スポーツクラブ
半田市	㉒NPO法人ソシオ成岩スポーツクラブ		(65)五条スポーツクラブ
	㉓スポーツクラブYOUKI		(66)栗島スポーツクラブ
	㉔青山スポーツクラブ		(67)東スポーツクラブ
	㉕乙川スポーツクラブ	大口町	(68)NPO法人ウィル大口スポーツクラブ
	㉖半田地区スポーツクラブ	阿久比町	(69)アクティブあぐい
豊川市	㉗音羽スポーツクラブ	東浦町	(70)森と川スポーツクラブ
津島市	㉘クラブホワイトウイングズ	一色町	(71)NPO法人スポーツクラブいっしき
刈谷市	㉙朝日総合スポーツクラブ		(72)スポーツクラブさく
	㉚依佐美総合スポーツクラブ	吉良町	(73)津平スポーツクラブ
	㉛刈谷東総合スポーツクラブ		(74)白浜スポーツクラブ
	㉜富士松総合スポーツクラブ	三好町	(75)なかよしクラブ
	㉝雁が音総合スポーツクラブ		(76)三好さんさんスポーツクラブ
	㉞刈谷南総合スポーツクラブ	春日井市	(77)設立準備中
豊田市	㉟かみごうスポーツクラブ	碧南市	(78)設立準備中
	㊱高橋スポーツクラブ	稲沢市	(79)設立準備中
	㊲NPO法人朝日丘スポーツクラブ	東海市	(80)設立準備中
	㊳NPO法人美里スポーツクラブ	大府市	(81)設立準備中
	㊴若園スポーツクラブ	知多市	(82)設立準備中
	㊵いさとスポーツクラブ	日進市	(83)設立準備中
	㊶さわやかスポーツクラブまえばやし	蟹江町	(84)設立準備中
	㊷しもやまスポーツクラブ	武豊町	(85)設立準備中
	㊸松平スポーツクラブ		

※名古屋市内については、地域ジュニアスポーツクラブから発展した総合型のクラブ

SCステーション　クラブづくりの意義やサポート体制、全国で展開されているクラブなどの情報が紹介されています。http://www.japan-sports.or.jp/local/

●お問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・ 愛知県広域スポーツセンター事業推進室 TEL 052-249-2720
(財)愛知県体育協会 TEL 052-264-1010　(財)日本体育協会 クラブ育成課 TEL 03-3481-2278